

1.講義で取り上げた例以外

組織のネットワーク・サーバ管理者が、SHODANやCensysなどを活用すれば、不適切な設定で公開されている機器を早期に発見し対応できる。一方で、サイバー犯罪者でなくても悪用するものが現れるのも事実。

SHODANやCensysのような活動に賛成か反対か、理由とともに述べなさい。

賛成。脆弱なサイトや不適切な公開設定などが広く見られてしまう危険はあるが、このような活動を制限して一般には気づかれないようにしても、初めからサイバー犯罪を目的としている層からの攻撃は防げるわけではない。こうした情報に誰もがアクセスできるという前提で各企業などは対策を取るべきであり、脆弱性の発見を早めたり危機感・当事者意識をもたせる上でもSHODANやCensysのような活動は有効だと思う。